

# 第36号

発行：公益社団法人  
福島県森林・林業・緑化協会  
〒960-8043  
福島市中町5番18号  
(福島県林業会館内)  
TEL 024-521-3270  
FAX 024-521-3246  
令和3年3月発行

# ふくしま 林業 労働力確保支援 センターだより



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.



林業人材育成研修会



FW 集合研修【FW 3簡易架線集材機械講習】



森林・林業担い手育成事業【高校生チェーンソー資格取得支援】



森林作業道作設研修【フォローアップ研修】

## 目次

令和2年度「緑の雇用」事業について……………	2	女性に向けたイベントを開催……………	11
令和2年度「緑の雇用」集合研修の実施……………	3	高校生に向けた資格取得の支援(チェーンソー・刈払機)…	12
林業人材育成研修会を開催……………	6	森林の仕事ガイダンス(東京)に参加……………	13
森林(もり)づくり研修会を開催……………	7	令和3年認定林業事業体現場作業員採用計画……………	14
森林作業道作設研修(初級・フォローアップ)を開催…	8	福島県認定事業体一覧表(流域別)……………	15
森林・林業担い手セミナーを開催……………	10	福島県認定事業体位置図(流域別)……………	16

# 令和2年度「緑の雇用」事業について

「緑の雇用」事業は、国（農林水産省）の助成事業で、改善計画の認定を受けた林業事業体（森林組合や民間の造林会社、素材生産会社等）に採用された人に対し、講習や研修によりキャリアアップを支援する制度です。研修年次に応じて研修の内容をステップアップさせ、さまざまな技能を身につけられるよう体系的な研修プログラムが用意されています。

「緑の雇用」事業の体系		
時期	集合研修	実地(OJT)研修
トライアル雇用	林業就業希望者が、仕事や職場にあつては3ヶ月間の就業。(本格就業前)	
本格採用	実施しません	(最大3ヶ月) (上限60日)
<b>林業作業士（フォレストワーカー）研修</b>		
新しく林業の仕事をはじめた方対象。OJT研修や集合研修を通じて、基本姿勢や基礎力を習得し、一人前の現場技能者になる能力を身につけます。		
1年目	<b>28日程度の座学と実習</b> 林業作業の基本 【研修中に取得する安全講習等】 ・刈払機取扱作業者 ・伐木等の業務(チェーンソー作業) ・玉掛け技能講習 など	(最大8ヶ月) (上限140日)
2年目	<b>29日程度の座学と実習</b> 1年目内容の確認・応用 【研修中に取得する安全講習等】 ・不整地運搬車運転技能講習 ・荷役運搬機械によるはし作業従事者 ・機械集材装置の運転業務 など	(最大8ヶ月) (上限140日)
3年目	<b>21日程度の座学と実習</b> 基礎力の向上・ 大型機械を使用した林業作業 【研修中に取得する安全講習等】 ・簡易架線集材装置の運転業務 ・伐木等機械の業務	(最大8ヶ月) (上限140日)
<b>現場管理責任者（フォレストリーダー）研修</b>		
作業班長候補者など経験を積み職務力がつきた方対象。判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につけます。		
5年以上	<b>16日程度の座学と実習</b> 【研修中に取得する安全講習等】 ・造林作業の作業指揮者 ・はし作業主任者 ・地山掘削及び土止め支保工作業主任者	実施しません
<b>総括現場管理責任者（フォレストマネージャー）研修</b>		
複数班の総括など現場全体の管理責任能力を身につけたい方対象。コミュニケーション能力向上、林業の社会的使命、企画・営業・販売などを学び、林業現場の総括責任を担える能力を身につけます。		
10年以上	<b>10日程度の座学と実習</b> 【研修中に取得する安全講習等】 ・安全推進者養成講習	実施しません

出展：「緑の雇用」総合ウェブサイト  
「緑の雇用」RINGYOU.NET

令和2年度方別「緑の雇用」研修生数等集計

区分	会津	中通り	浜通り	計
1年生	1	17	7	25
2年生	3	11	4	18
3年生	1	12	5	18
リーダー	7	13	4	24
計	12	53	20	85
事業体数	5	21	11	37

令和2年6月時点

## 「緑の雇用」研修生になるには

「緑の雇用」研修生になるには、県の認定を受けた林業事業体に雇用されていることが条件となります。

そのうえで、フォレストワーカー（以下、FW）研修生は、林業に必要な技能を身につける必要がある方（林業就業経験2年未満）、フォレストリーダー（以下、FL）研修生は、林業の就業経験が通算5年以上で、FW研修で受講する安全講習等の2分の1以上を修了している方、フォレストマネージャー（以下、FM）研修生は、林業の就業経験が通算10年以上で、FW研修及びFL研修で受講する安全講習等の2分の1以上を修了している方がそれぞれ対象となります。

さらに、FW・FL・FM研修生ともに、研修修了後5年以上就業できる年齢である方（概ね60歳未満）、林業就業に必要な健康状態である方が対象となります。

## 「集合研修」とは

集合研修は、林業に関する資格取得のための講習や造林・育林・間伐・メンテナンス作業などの実践実習の研修を行うもので、その内容は多岐にわたります。

労働力確保支援センターが企画運営を行っており、研修生の状況は左下の表のとおりです。

## 「実地（OJT）研修」とは

実地（OJT）研修は、雇用された事業体において、選任された指導員の資格を持つ指導員の管理・指導のもと研修を行います。本人の技術の習得度に応じて適切なスキルアップができるよう指導します。

研修生の指導体制は、指導員が研修場所に配置され、研修生の作業状況を確認できる位置にすることが条件となります。また、指導員の条件が変更され、今後はFL研修及びFM研修の修了者のみが対象となります。（令和3年度は移行期間、令和4年度より運用）

## 最後の「指導員能力向上研修」を実施しました

今年度の指導員能力向上研修は、7月1日から7月3日の3日間フォレストパークあだたらで開催しました。参加者は9名でした。

この研修は令和2年度をもって終了し、今後指導員を目指す方は、FL研修及びFM研修を修了する必要があります。



研修の様子



修了後の集合写真

# 令和2年度「緑の雇用」集合研修の実施

「緑の雇用」事業は、未経験の方でも林業に就き、必要な技術を学んでもらうため、林業事業体に採用された人に対し、講習や研修を行うことでキャリアアップを支援する制度です。

今年度、当センターでは林業作業士（フォレストワーカー）研修及び現場管理責任者（フォレストリーダー）研修を実施しました。

## 林業作業士（フォレストワーカー）集合研修

新しく林業の仕事を始めた方を対象に行うもので、OJT研修や集合研修を通じて、基本姿勢や基礎力を習得し、一人前の現場技能者になる能力を身につけるための研修です。

### 1年目研修【林業作業の基本】

今年度のフォレストワーカー（以下、FW）集合研修は、新型コロナウイルス感染症への対応等により、例年よりひと月遅く、7月からのスタートとなりました。1年目の研修は、7月6日から1月15日までの期間で実施し、24名の研修生が修了しました。

1年目の研修は、林業作業の基本となる内容を中心に講義・実習を行い、研修日数は最長で28日間に及びました。（研修生の既取得資格等により異なる。）

#### ◎研修中に取得する安全講習等

- ・刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育
- ・伐木等の業務にかかる特別教育（チェーンソー作業）
- ・玉掛け技能講習
- ・網罫わな罫講習
- ・小型移動式クレーン技能講習
- ・普通救命講習



初日の講義風景



チェーンソーのメンテナンス実習



育林作業の実習



【安全講習】網罫・わな罫講習



チェーンソーによる伐倒作業の実習



手工具のメンテナンスの実習

### 2年目研修【1年目の内容の確認・応用】

今年度のFW 2年目の研修は、7月13日から12月15日までの期間で実施しました。取得済みの資格等によって違いはあるものの研修日数は最長で21日間に及び、18名が修了しました。

2年目の研修は、主に1年目に行った内容のフォローアップを行うもので、造林や育林、チェーンソーによる伐倒・造材・集材作業の応用、また、かかり木等処理の研修などを行いました。

#### ◎研修中に取得する安全講習等

- ・走行集材機械特別教育
- ・機械集材装置の運転に係る特別教育
- ・車両系建設機械運転技能講習
- ・不整地運搬車運転技能講習
- ・荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育



刈払機のメンテナンス実習



【安全講習】 走行集材機械の操作実習



森林調査の実習（ドローン操作）



造林作業の実習



【安全講習】 機械集材装置（集材機）の操作実習



チェーンソー伐倒の実習

### 3年目研修【基礎力の向上・大型機械を使用した林業作業】

FW 3年目の研修は、7月15日から12月2日（補講を除く）までの期間で実施しました。取得済みの資格等により違いはあるものの研修日数は最長で20日間に及び、18名が修了しました。

3年目の研修は、1年目・2年目で学んだ林業作業の基本力の向上を目指す内容で、高性能林業機械による作業実習やメンテナンス実習、木材市場・加工施設の見学や森林作業道作設の研修等を行いました。

#### ◎研修中に取得する安全講習等

- 伐木等機械の運転業務に係る特別教育
- 簡易架線集材装置等の運転業務に係る特別教育



初日、労働災害の講義風景



プロセッサによる伐木作業実習



フォワーダによる集材作業実習



高性能林業機械のメンテナンス研修



木材市場の見学



木材加工施設・製材工場の見学



低コスト作業現場の見学



森林作業道作設実習



最終日、全員で記念写真

## 現場管理責任者（フォレストリーダー）集合研修

作業班長候補者など経験を積み職務力がついてきた方を対象に行うもので、判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につけるための研修です。

## フォレストリーダー（FL）研修

フォレストリーダー（以下、FL）研修は、9月1日から12月11日までの期間で実施しました。研修日数は最長で16日間（既取得の資格等により異なる）に及び、22名が修了しました。

FL研修は、林業の就業経験が5年以上の方を対象に行われるため、林業に対する基本的知識・技能を習得していることを前提に、研修内容はFW研修の内容の復習・高度化が主体となっています。

### ◎研修中に取得する安全講習等

- 造林作業の作業指揮者等に対する安全衛生教育
- はい作業主任者技能講習
- 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習



労働衛生管理講義の受講風景



生産性向上のための作業システム、現地研修



生産性向上のための作業システム、室内研修



森林整備、室内研修



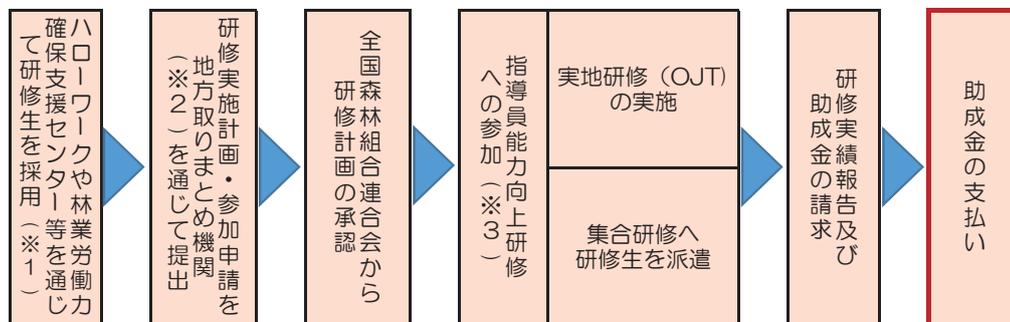
目標林型に向けた施業方法等、現地研修



森林作業道作設の事例研究等、室内研修

## 申請から支給までの流れ（全国森林組合連合会「緑の雇用」事業リーフレットより）

認定事業体の皆様が「緑の雇用」事業を活用するためには、下図のようなフローにより取扱機関に申請を提出しなければなりません。具体的な研修受講の手続きは、本県では、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合、福島県林業労働力確保支援センターが行っています。



※1 トライアル雇用と林業作業士（FW）研修（1年目）（トライアル雇用から引き続きの場合を除く）のみ

※2 本県では福島県林業労働力確保支援センター、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合があります。

※3 本県では福島県林業労働力確保支援センターが行っています。なお、この研修は令和2年度で終了しました。

### ●●●指導員について●●●

実地研修（OJT）を統括的に管理・指導するため、各事業体で指導員を選任の上、研修指導を行います。

### ——— 指導員の資格 ——— ①または②に該当する者

- ①FL研修もしくはFM（フォレストマネージャー）研修の修了者
  - ②以下のa～cすべてを満たす者（※）
    - a 伐木等の業務に係る特別教育及び刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育の修了者
    - b 林業就業経験が通算3年以上の者
    - c 指導員能力向上研修の修了者
- （※）但し、②の要件は令和3年度のみ有効、令和4年度からは①のみが必須要件となります

# 就労者のキャリア形成に向けての取り組み

林業就業者の定着を促進するためキャリア形成に必要な知識等を習得するための研修会として、「林業人材育成研修会」を令和2年9月4日(金)に、「森林づくり研修会」を令和3年1月22日(金)に、それぞれ開催しました。

## (1) 林業人材育成研修会を開催

令和2年9月4日(金曜日)に、須賀川市の「福島空港公園」緑のスポーツエリア内21世紀建設館及び広場にて、県内の林業事業者及び林業関係者に向けて「林業人材育成研修会」を開催しました。

講師として、昨年度に引き続き小田桐久一郎氏(青森県国有林材生産協同組合専務理事)を迎え、講義「安全伐倒の極意」及び目立て等実技指導について、主にチェーンソーの取扱いが中級者以上の方を対象に研修を行いました。

当日は、午後から雷雨が予想される不安定な天候を考慮して、午前と午後のプログラムを入れ替えて実施しました。開会の挨拶等のもと、空港公園内の広場に移動し、小田桐氏による伐倒作業の実演及び事前申込のあった10名への実技指導を行いました。実技指導では、1名ずつ合わせ輪切りを行いながら、チェーンソーの構造や操作を安定させるためのテクニック、日々の練習方法、若手への指導方法等について教えていただきました。

その後、丸太を使った伐倒の実技指導を行いました。丸太を加工して土台を作り、その上に伐倒用の丸太を立てて(青森方式)練習を行う方法や、追い口に段差を付ける方法の実演等を小田桐講師が行い、参加者はスマートフォン等で撮影をしながら、熱心に見学していました。



講師の小田桐氏による実演



指導説明する小田桐講師



参加者による合わせ輪切りの実技



小田桐氏から直接指導を受ける参加者



丸太を使ったチェーンソー伐倒の実演



参加者によるチェーンソー伐倒の実技

午後の室内研修では、「安全伐倒の極意」と題して座学での講義を行ったあと、目立ての実演と指導方法等について教えていただきました。特に、指導者に向けて、情緒ではなく理論に基づき説明することの大切さや、指導者としての心構え等について、実体験も交えながら分かりやすくお話いただきました。



室内研修の様子



講義を行う小田桐講師



目立て実演の様子

参加者へのアンケート調査の回答では「大変良かった」という意見が8割以上、また「参考になった」との感想が9割以上となり、「今後も同じ研修を行って欲しい」「実演にたっぷり時間を取ると良い」「メンテナンスや目立ての研修を希望する」等、開催を望む意見が多く寄せられました。

## (2) 森林（もり）づくり研修会を開催

令和3年1月22日（金曜日）に、郡山市の「ビッグパレットふくしま」プレゼンテーションルームにて、県内の林業事業者及び林業関係者に向けて「森林（もり）づくり研修会」を開催しました。

今回は、『県内の最新林業事情と林業事業者の進む道』と題して、『脱・国産材産地』時代の林業の動きが進むなかで、川上～川下が連携して持続可能で共栄できる林業経営のあり方を、パネルディスカッション方式で討論し、林業事業者の進むべき道を考えることを目的に開催しました。

コーディネーターとして幡建樹先生（東京大学アジア生物資源環境研究センター特任研究員）、パネラーとして佐川広興氏（協和木材株式会社代表取締役）、遠藤秀策氏（遠藤林業株式会社代表取締役、レポート提供）、田子英司氏（いわき市森林組合代表理事組合長）、松澤瞬氏（合同会社 SCOP 代表社員）、鈴木賢二氏（南東北木材株式会社代表取締役社長）を迎え、参加者は事業者・森林組合の職員、林業団体職員等を含めて計44名となりました。



研修会の様子



支援センター事務局長による挨拶



プロジェクター映像（向かって左側が幡先生、右側がパネラーの映像）

新型コロナウイルス感染症の影響により、1月7日に発出された11都府県への緊急事態宣言を受けて、コーディネーターである幡建樹先生が当日会場に来ることができない状況となりましたが、ZOOMを活用しオンラインで討論を導いていただき、パネラーとのやりとりをプロジェクターで会場に映写しました。



会場全体の様子



パネラー席（向かって左側から、佐川氏、田子氏、松澤氏、鈴木氏）



聴講する参加者

研修会は、幡先生の進行により、各パネラーの自己紹介を行ったのち、それぞれの事業活動や課題・問題点等についてお話いただき、その後パネラー間での質疑応答を行いました。

- 川上側の課題：素材の安定供給に向けた仕組みや体制づくり、素材生産コストの低減、境界の明確化、労働災害（特に死亡災害）の減少、優良材・良質材の確保と活用、認証材の普及と活用、等
- 川下側の課題：安定的な素材確保、木材価格の安定化、生産性の向上等による山元への還元、木質バイオマス発電事業との共存、海外市場への展開、等
- 川中側の課題：一般材の価格の向上、優良原木の販路の開拓、川上～川下の繋ぎ目としての役割、等

パネラーの方々からは、川上・川中・川下というそれぞれの立場が抱える現状や課題を踏まえたうえで、現在どんな取り組みを進めているか、どのような将来像を目指しているのかを具体例を挙げながらお話いただき、参加者の方々には、普段は触れる機会が少ない各方面のリーダーの意見や考え方・質疑応答に、熱心に聞き入っていました。

最後に、幡先生より「世界的にみて一般材は国際標準価格であり、優良材を活用しながらマーケットを創出していくには、当事者同士でより関係性を深めていくことが重要であり、今まで以上に川上～川中～川下の三者が連携し、情報を共有しディスカッションしながら、力を合わせて共存共栄のため取り組んでいく必要がある」とまとめていただき、研修会を終了しました。

参加者へのアンケート調査の回答では「参考になった」との感想が殆どを占め、「問題意識の共有ができた」「安定供給を実現するための意見交換ができた」「多角的な意見が聞けた」「川上、川中、川下が一同に集まったの議論が参考になった」等様々な意見感想が寄せられ、充実した研修会となりました。

# 森林作業道作設研修会を開催

効率的な素材生産システムの基盤である丈夫で簡易な森林作業道を作設するための初級研修と、更なる知識・技術の向上を図るためのフォローアップ研修を開催しました。

令和2年度は、初級研修8名、フォローアップ研修4名の計12名の方が修了されました。

## (1) 森林作業道作設研修会（初級研修）

令和2年10月13日(火)から10月16日(金)までの4日間、いわき市田人町を会場に開催しました。

室内研修は田人ふれあい館（田人公民館）研修室で行い、現地研修はいわき市田人町内の私有地をお借りして行いました。

講師は、室内研修は一般社団法人フォレスト・サーベイの渡邊良範氏、現地研修は有限会社豊田林業の豊田新一氏にお願いしてご指導をいただきました。

初級研修は、緩傾斜地における現場実習を中心に、作業道作設の基本の土工を反復して実習し、基本的な技術習得を目指しました。また、作業道の現地踏査（確認）伐開（支障木の伐採）も行い、最終日には作設上の疑問点等について講師と意見交換を行い、理解を深めました。

### 1日目（10月13日）午前：室内研修 渡邊氏による講義

テキストとして、「研修教材 森林作業道づくり2010」および「急傾斜地やぜい弱地等での森林作業道づくり」を使用し、室内研修を行いました。

#### 【主な講義内容】

- ①森林内の道の種類、②森林作業道の特徴（目的と機能、開設・維持・管理の主体、構造上の特徴）、③森林作業道のつくり方（使用する機械、伐開、土工の基本技術、排水、洗い越し工、湧き水の処理、曲線部、簡易構造物等）、④安全管理と技術の向上（安全管理、技術の向上）等

### 1日目（10月13日）午後：現地研修 豊田氏による現地指導

- ・作業道を作設する現場に向かい、現地踏査を行ったうえで、支障木の伐倒及び路線選定等を行いました。

### 2日目～4日目（10月14日～16日）現地研修

- ・バックホウを使用して、土砂の掘削や表土処理、伐根処理、路盤転圧等の基礎土工実習を行いました。

### 4日目（10月16日）午後：室内研修 意見交換、豊田氏によるアドバイス等

- ・田人町「おふくろの宿」研修室にて、豊田講師による講義や参加者による意見交換等、これまでの研修のまとめを行いました。



室内研修の様子



現地踏査、支障木の伐倒



豊田講師による模範操作



豊田講師からアドバイスを受けながら一人ずつ機械を操作する



豊田講師による作業道の解説



研修のまとめ、意見交換の様子

## (2) 森林作業道作設研修会（フォローアップ研修）

令和2年11月10日(火)から11月13日(金)までの4日間、いわき市を会場に開催しました。

室内研修は田人ふれあい館（田人公民館）研修室で行い、現地研修は関東森林管理局磐城森林管理署にご協力いただき、いわき市田人町内の国有林で行いました。

講師は、室内研修は一般社団法人フォレスト・サーベイの渡邊良範氏、現地研修は有限会社豊田林業の豊田新一氏にお願いしてご指導をいただきました。

フォローアップ研修は、約60年生のスギ人工林内の急傾斜地における現場実習を中心に、応用土工に関する技術習得を目指しました。また、効率的な線形の選定方法の実習も行い、最終日には作設の疑問点等について講師と意見交換を行い、理解を深めました。

### 1日目（11月10日）午前：室内研修 渡邊氏による講義

テキスト「研修教材 森林作業道づくり2010」及び「急傾斜地やぜい弱地等での森林作業道づくり2014」を用いて、室内研修を行いました。

#### 1. 急傾斜地での基本土工及び応用土工、路線選定について

応用土工：基本土工だけでは作設困難な箇所での工法を説明（丸太組工、洗越し工、ヘアピンカーブの設計等）

#### 2. 現地研修を行う斜面の状況、林況、作業システム等の説明

#### 3. 路線選定（図上設計）：基本図等を利用し、林況や作業システム等を考慮した設計を検討、等

### 1日目（11月10日）午後：現地研修 豊田氏による現地指導

- 現地踏査、支障木伐倒、路線選定を行い、スイッチバック及び丸太組工を組み合わせた作業道作設実習を行いました。

### 2日目～4日（11月11日～13日）現地研修

- バックホウを使用して、急傾斜地における効率的な土量の流用方法、大径木の伐根処理、丸太組工等の応用土工実習を行いました。

### 4日目（11月13日）午後：室内研修 意見交換、豊田氏によるアドバイス等

- 田人町「おふくろの宿」研修室にて、豊田講師による講義や参加者による意見交換等、これまでの研修のまとめを行いました。



室内研修の様子



現地踏査、路線選定の様子



丸太組工の作設実習（その1）



丸太組工の作設実習（その2）



急傾斜地での作業道作設実習



研修のまとめ、意見交換の様子

# 森林・林業担い手育成事業の実施

森林・林業に意欲と技術力を有する優れた担い手の育成・確保を支援するため、各種取り組みを通じて森林・林業に関する情報を提供するための事業を実施しています。

## (1) 森林・林業担い手育成セミナーを開催

令和3年2月13日(土)、郡山市において、森林・林業担い手育成セミナー『「脱・国産材産地」時代の林業経営のあり方 in 福島』を開催しました。

この研修会は、当協会が主催となり、福島県・福島県森林組合連合会・福島県木材協同組合連合会の後援をいただき開催したもので、今年度は、講師として餅田治之氏（大日本山林会副会長）と幡建樹氏（東京大学アジア生物資源環境研究センター特任研究員）を迎えて、『「脱・国産材産地」時代の林業経営のあり方 in 福島』と題してご講演いただきました。



研修会の様子



餅田治之氏による基調講演



幡建樹氏による講演



聴講の様子



参加者との質疑応答（その1）



参加者との質疑応答（その2）

はじめに、餅田先生より基調講演として、ご著書『「脱・国産材産地」時代の木材産業』の内容に基づき、近年大型化が進む川下側の国内木材産業に対して近代化が遅れる川上側の森林経営、両者の現状とますます大きくなるギャップを今後どのようにしたらよいかというテーマについてお話いただきました。続いて、幡先生より講演として、川上～川下が共栄できる持続可能な林業経営に向けた課題について、コーディネーターを務めていただいた1月22日開催の「森林づくり研修会」でのパネルディスカッションの報告も交えてお話いただきました。

会場の参加者からは、県内の木材価格低下の理由や育林経営規模拡大を進める中で障害となっている林地境界の問題、川上～川中～川下の連携に向けたアドバイスや、林業経営を成り立たせるためのモデルケース、森林行政の変化の中で一人親方など小規模事業者が仕事を続けやすい環境を作っていくためにはどのようにしたらよいか等、活発に質問が挙がり、両先生からアメリカでの事例紹介等も交えて、アドバイスをいただきました。

最新の林業情勢に加えて、今の林業が抱える様々な問題や課題、森林経営のビジネス化の必要性、優良材の活用や海外市場への進出拡大などこれからの林業の可能性等について考える機会となり、学びの多い貴重な研修会となりました。

## トピックス

### 〈共同改善計画に伴う委託募集について〉

「林業労働力の確保の促進に関する法律」等により、事業主の管轄ハローワーク以外にも募集活動地域を広げて、求職者へのアピール度を高めるため、事業主と支援センターが共同で改善計画の認定を受けた場合、事業主からの委託を受けて募集を行うことができます。

本県では、共同計画を立てている磐城林業協同組合の中の12事業体が募集を行うこととして、支援センターは厚生労働大臣に届け出て、令和3年3月1日から8月31日までの期間で、25名の募集を行います。

(詳しくは、本協会のホームページで検索)

## (2) 森や木に関心のある女性に向けたイベントを開催

令和2年11月7日(土)、女性に向けたイベント「会津の伝統工芸に触れる小さなバス旅～会津伝統工芸の工場・店舗見学と竹細工体験ツアー～」を開催しました。

これは、当協会が行っている森林・林業担い手対策事業の一つとして、森林や林業に興味関心のある女性に向けて森や木に関するイベント等を開催するもので、年2回程度を予定しています。

今回は、「会津の伝統工芸に触れる小さなバス旅」と題して、会津木綿織元や伝統工芸を取り扱う店舗の見学、古民家カフェでのランチ、竹細工ワークショップを行いました。密を避けてバスに搭乗するため、募集人数は12名と少なめでしたが、会津から自家用車で参加してくださった方も含めて、計16名での開催となりました。

郡山カルチャーパーク駐車場に集合したのち、はじめに、会津若松市内にある会津木綿織元「山田木綿織元」に向かい、2班に分かれて店舗と工場それぞれを見学し、工場では山田社長からお話を伺いました。歴史ある機織り機が数多く並ぶ工場の景色は圧巻で、山田社長から会津木綿の歴史や作業の工程、特徴等を伺いながら、先人達が苦労を重ねながらも会津木綿を愛し、ともに暮らしてきた歩みに思いを馳せました。



山田木綿織元 店舗内



山田木綿織元工場内、震災でも大きな被害はなかったとのこと



山田社長による説明



関美工堂 店舗内の見学



関社長による説明



会津漆器「NODATEMUG (ノダテマグ)」  
丈夫で軽く柔らかな風合い、紐は鹿革



武藤氏による根曲がり竹細工  
実演



佐々木講師による真竹の竹細工  
実演



ワークショップの様子



佐々木講師や武藤氏に教わりながら  
2時間ほどで完成しました



完成した四海波



作品を手に集合写真

次に、同じく会津若松市内の「美工堂」を見学しました。こちらは、会津を中心に各地の伝統工芸品を取り扱うセレクトショップで、特に、会津漆器ブランド「NODATE (ノダテ)」を製造・販売し、会津漆器のマグカップを用いたアウトドアイベント等も開催しながら、その魅力を発信しています。関社長の熱意溢れるお話に引き込まれながら、会津漆器の温かく柔かい手触りに魅了される見学となりました。

続いて、喜多方市まで移動し、古民家カフェ「食堂つきとおひさま」にて、雰囲気ある建物で身体にも心にも優しい美味しいランチとデザートをいただき、和やかに休憩したのち、同じ市内の「おぐに交流の郷」にて、竹細工ワークショップを行いました。

講師として、喜多方市在住で竹工芸職人の佐々木智子氏を迎え、おぐに交流の郷で活動されている「雄国根曲がり竹細工保存会」副会長の武藤叡太郎氏にもご協力いただき、花籠「四海波」を製作しました。

はじめに、佐々木講師より竹細工の種類や歴史、製作方法等について説明いただき、続いて、武藤氏による根曲がり竹細工の実演、佐々木講師による真竹での竹細工実演により、その違いを学びました。

その後、各テーブルに分かれて真竹による「四海波」製作を体験、佐々木講師や武藤氏にアドバイスいただきながら、竹を編み込み、形を整えながら全員が作品を完成させました。竹細工は、経年で少しずつ飴色に変化することさらに風合いのある作品となり、使うごとに愛着が増していきます。

コロナ禍での開催ではありましたが、会津に伝わる伝統工芸の良さや温かさを感じ、それらに関わる方々の熱い想いに触れることができた貴重な体験となりました。

### (3) 高校生2年生に伐木等業務の特別教育を実施

林業を学ぶ高校生を対象とした伐木等業務特別教育（チェーンソー講習会）実施の支援について、今年度は、令和2年10月24日(土)・25日(日)・11月6日(金)の3日間、福島県立会津農林高等学校にて、同校森林環境科2年生23名を対象に行いました。

講師は、県内で広く安全指導に務められ、講習会も開催している林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部の方々をお願いしました。

#### ◎（安全衛生教育）室内

講習会初日は、室内でチェーンソー作業に関する安全衛生教育を行いました。天候への対応や服装、現場に合った作業の進め方など屋外作業の基本となる事項の説明のほか、チェーンソーの操作方法、安全な伐採方法、危険な使い方、事故の発生や原因・防止方法、チェーンソーの構造や点検の仕方、故障への対応等、実践的な内容についての説明がありました。

さらに、長時間のチェーンソー作業等により発症する可能性がある振動障害について、その原因や予防対策、特殊健康診断の受診等についても、事例を含めて説明がありました。

#### ◎（安全衛生教育）屋外

学校の敷地を実習場所として、3班に分かれて実際にチェーンソー作業を体験しました。操作について指導を受けた後、はじめに丸太切り（落とし切り・合わせ切り・突込み切り）の3種類の切り方の体験、続けて、立てて設置した丸太を使って受け口切り・追い口切りの体験を生徒全員で行い、さらに、ソーチェーンの目立てや毎日の点検方法についても実習を行いました。

雨が時々降るあいにくの天気でしたが、生徒たちは熱心に取り組み、チェーンソー作業に対する安全意識の向上だけでなく、その楽しさも感じてもらえたと思います。



室内研修の様子



屋外での実技研修の様子



チェーンソーによる玉切りの実習



チェーンソーによる伐倒（受け口切り）の実習



ソーチェーンの目立ての実習



補講（座学）の様子

#### ◎アンケートの結果から

下表のとおり回答と意見感想をいただきました。チェーンソーの操作について、9割を超える生徒から「特に印象に残った」との回答があり、「楽しかった」「いい体験になった」との感想も多く見られました。

- |   |  |
|---|--|
| ◆伐木等の特別教育を受けてみて、特に印象に残ったものは？（複数回答可）       | ◆今後、森林・林業関係でやってほしいことは？（複数回答可）            |
| <input type="checkbox"/> 伐木作業に関する知識 6名    | <input type="checkbox"/> 現場での作業体験 15名    |
| <input type="checkbox"/> チェーンソーに関する知識 6名  | <input type="checkbox"/> 林業現場の見学 11名     |
| <input type="checkbox"/> 振動障害の知識 8名       | <input type="checkbox"/> 製材工場・原木市場の見学 5名 |
| <input type="checkbox"/> 実技：チェーンソーの操作 21名 | <input type="checkbox"/> 地元の林業者の講話 3名    |
| <input type="checkbox"/> 実技：チェーンソーの整備 15名 | <input type="checkbox"/> 有名林業地の見学 8名     |

- ◆今後、森林・林業関係で仕事をしたいと思ったか
- |                              |     |
|------------------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> はい  | 14名 |
| <input type="checkbox"/> いいえ | 9名  |

- ◆意見・感想等（要約）
- チェーンソーの操作をもっとやってみたい。
  - 最初は怖かったがやってみると楽しかった。
  - すごく分かりやすく怪我なく安全にできた。
  - 質の良い講習会ができたので良かった。
  - 操作方法等が分かった、いい体験になった。
  - 初めは不安だったが、分かりやすく教えていただいたので、すごく楽しかった。
  - 木の切り方や受け口の入れ方等やってみて、すごく楽しくできた。いい体験でした。
  - 3日間の講習会を通じて、チェーンソーに関する知識や技能、部品の整備等を体験することができ、いい体験だった。仕事に生かせるよう頑張ります。
  - 実技はすごく楽しく、勉強になった。
  - チェーンソーの知識や操作等を教わり、自分の将来第一歩になったと思います。

#### (4) 高校1年生に刈払機作業従事者安全衛生教育を実施

林業を学ぶ高校生を対象とした刈払機作業従事者安全衛生教育（刈払機講習会）実施の支援について、今年度は、令和2年10月12日（月）福島県立会津農林高等学校において同校森林環境科1年生20名を対象に行いました。講師は、昨年に続き林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部にお願いしました。

午前中は、基本的な事項として刈払機の構造と機能、操作方法、点検整備の仕方、そして最も大切な安全に作業を行うために必要な知識を学びました。

午後からは、屋外で操作実習を行いました。ほとんどの生徒は初めての体験であり、思うように作業が進まない生徒もいて、講師の方から助言を受けながら刈り幅や足の進め方、危険防止について学んでいました。

生徒たちは、楽しみながら刈払機の操作技術と安全に対する知識を学んだようです。



室内研修の様子



刈払機の始動方法を学ぶ



屋外での操作実習（その1）



屋外での操作実習（その2）

#### ◆アンケートの結果は以下のとおり

◆刈払機の安全衛生教育を受けてみて特に印象に残ったものは？  
（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 刈払機の知識	9名
<input type="checkbox"/> 振動障害の知識	7名
<input type="checkbox"/> 災害事例	7名
<input type="checkbox"/> 実技	10名

◆今後、森林・林業関係でやってほしいことは？

<input type="checkbox"/> 林業現場の見学	4名
<input type="checkbox"/> 製材工場等の見学	3名
<input type="checkbox"/> 地元の林業者の講話	無
<input type="checkbox"/> その他	無

◆今後林業で働いてみたいと思いますか。

<input type="checkbox"/> はい	12名
<input type="checkbox"/> いいえ	8名

#### ◆意見・感想（抜粋・要約）

- 実技がとても楽しく、やってみようと思う。
- きれいに刈るのが難しかった
- 刈払の知識や災害事例を知って勉強になった
- 蜂に刺された時の対処法がすごかった。自分でさす注射が痛そうだった。
- いろいろ学べて楽しかった
- 草刈りをしてくれる人がいるお陰で色々な道を歩けることに感謝したいです。

## 森林の仕事ガイダンス（東京）に参加

林業への就業に関心のある方に向けて、森林の仕事を紹介する「森林（もり）の仕事ガイダンス2020」が、全国森林組合連合会の主催により、東京・大阪ほか4会場で開催されました。

他に、新たな試みとして、オンラインのみによる相談会も開催されました。

福島県も11月の東京会場に参加し、本県ブースに来られた方々に説明や相談等を行いました。

東京会場でのガイダンスは、令和2年11月3日（火）祝日の午前11時からと午後2時からの2部制で行われ、リモート出展の7県も含めて計34道県の林業労働力確保支援センター等が参加し、県ごとの相談ブースが設けられました。主催者発表によると、来場者は330名、リモート参加も含めて相談者数は延べ876名とのことでした。

本県ブースには21名の相談者が訪れ、本県の森林林業や林業の仕事に関する概況等、ハローワーク等求人情報や緑の雇用制度・居住環境情報等について情報を提供し、本県への就労を勧誘しました。

コロナ禍での相談会となりましたが、本県への相談人数は昨年の13名よりも多く、「すぐにでも（林業に）就業したい」「近い将来就業したい」と相談に訪れた方も多く、熱心な質疑応答が続きました。



会場全体の様子



福島県ブースの相談（その1）



福島県ブースの相談（その2）

# 福島県認定事業体一覧表(流域別)

令和3年2月1日現在

番号	事業体の名称	所在地	TEL
<b>阿武隈川流域</b>			
1	福島県北森林組合	福島市岡部字前田137-1	024-534-9015
2	吾妻造林(有)	福島市町庭坂字湯町17	024-591-1322
3	(有)斎一林業	福島市小倉寺字敷ヶ森9-11	024-523-4305
4	(有)武田林産	二本松市小関105	0243-24-2819
5	安田林業(株)	安達郡大玉村大字山字宮ノ前21	0243-68-2220
6	浜崎製材(株)	本宮市高木字猫田46-2	0243-33-4400
7	郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	024-957-2850
8	(株)アメリカ屋	郡山市田村町徳定字下河原58	024-944-4990
9	(有)ネイチャーリバイブ	須賀川市滝字前田40	0248-67-2856
10	田村森林組合	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	0247-67-1101
11	(株)クライス	田村市常葉町西向字中97-1	0247-61-5187
12	(有)大須賀林業	岩瀬郡天栄村大字牧之内字惣五郎4	0248-29-8613
13	アブクマエコロジー(有)	石川郡玉川村大字若法寺下竹ノ内36-6	0247-57-4111
14	(有)松崎産業	石川郡平田村大字永田字堂作112-3	0247-55-2076
15	(株)サンライフ	石川郡古殿町大字松川字陣場7-1	0247-53-4727
16	ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	0247-71-0755
17	嵐ミツヤグリーンプロジェクト	白河市大信下新城字北山61-1	0248-54-5115
18	(株)出田創業	白河市大信下小屋字宮沢144	0248-21-6560
19	西白河地方森林組合	白河市字旭町1-244-1	0248-24-1037
20	(株)E・ウッド	白河市表郷番沢字大窪28-26	0248-32-4904
<b>奥久慈流域</b>			
21	東白川郡森林組合	東白川郡棚倉町大字棚倉字南町100-2	0247-33-2161
22	(有)陣野林業	東白川郡棚倉町大字北山本字居伝金288	0247-33-5153
23	(有)スズキ木材	東白川郡棚倉町大字戸中字川前217	0247-35-2324
24	(有)田部林業	(戸塚事務所) 東白川郡矢祭町大字戸塚字大子沢21-3	0247-57-5675
25	協和木材(株)	東白川郡塙町大字西河内字鶴巻田10	0247-43-0272
26	(有)いしぐろ	東白川郡塙町大字塙字宮田町16-8	0247-43-2940
27	(株)武農林商会	東白川郡塙町上渋井字胡桃下53	0247-43-4283
28	真名畑林業(有)	東白川郡塙町大字植田字森戸68-1	0247-43-3331
29	(有)ウッド福生	東白川郡塙町大字片貝字兎田44	0247-42-2409
30	(株)池田林業	東白川郡塙町大字那倉字矢塚1	0247-42-2427
31	(有)本郷林業	東白川郡鮎川村大字赤坂東野字戸草298-1	0247-49-2420
32	(有)諸橋林業	東白川郡鮎川村大字赤坂東野字戸草23-2	0247-49-2422
<b>会津流域</b>			
33	会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	0242-26-2355
34	(有)佐藤林業	会津若松市湊町大字原字高坂153	0242-96-1370
35	(株)山空林業	会津若松市日新町15-44	0242-85-6627
36	会津北部森林組合	喜多方市市舞台田3128-8	0241-22-1136
37	(有)斉藤造林	喜多方市熊倉町雄国字八木沢道中乙562	0241-25-7021
38	(株)ノーリン	喜多方市慶徳町山科字宮前4780-7	0241-24-2300
39	西会津町森林組合	耶麻郡西会津町尾野本字樋ノ口原乙1460	0241-45-2779

番号	事業体の名称	所在地	TEL
40	8 (有)六和林業	耶麻郡猪苗代町大字磐里字島田1955	0242-62-3072
41	9 栗城林業(株)	大沼郡会津美里町字東川原3250	0242-54-7100
42	10 (有)川島林業	大沼郡会津美里町東尾岐字村中乙10948	0242-53-2701
43	11 (株)桜林業	河沼郡湯川村佐野日宮前丙79	0241-27-5310
44	12 (有)共和林業	南会津郡下郷町大字大内字沼山488	0241-68-2915
45	13 下郷町森林組合	南会津郡下郷町大字豊成字下モ6276	0241-67-3310
46	14 (株)ヤマイン	南会津郡只見町大字小川字下村79	0241-84-2573
47	15 只見町森林組合	南会津郡只見町大字只見字田中1283-3	0241-82-3120
48	16 佐藤造林	南会津郡南会津町静川字風下甲45	0241-62-2766
49	17 南会津森林組合	南会津郡南会津町針生字下宮238	0241-64-5071
50	18 (株)館岩工務所	南会津郡南会津町松戸原223	0241-78-2224
51	19 山星林業(株)	南会津郡南会津町田島字田部原159-5	0241-62-3139
<b>磐城流域</b>			
52	1 松山林業(有)	相馬市東玉野字町裏139-1	0244-34-2108
53	2 (有)国見グリーンパワース	南相馬市原町区大原字阿弥陀堂28	0244-23-4923
54	3 相馬地方森林組合	南相馬市原町区錦町1-34	0244-22-0831
55	4 (有)鈴木林業	南相馬市原町区南町3-53	0244-23-2366
56	5 千葉製材所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	0244-22-8111
57	6 中川木材	南相馬市原町区中太田字天狗田95-25	0244-23-4830
58	7 (株)ガイワーク東北支店	南相馬市原町区馬場字切付69	0244-32-1027
59	8 ウッズガーディアンズ(株)	南相馬市原町区信田沢字ニケ折88-11	0244-32-0333
60	9 (有)山英林業	南相馬市鹿島区小池字新山70	0244-46-3699
61	10 双葉地方森林組合	双葉郡富岡町小良ヶ浜字市ノ沢95-1	0240-22-1311
62	11 (株)緑樹	双葉郡川内村下川内字松川原46-4	0240-25-8806
63	12 (有)志賀林業	双葉郡川内村大字下川内字道ノ下30	0240-25-8484
64	13 吉田林業(株)	双葉郡葛尾村大字落合字大放100	024-983-7286
65	14 (有)ハヤマ森業	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	0244-42-0102
66	15 飯館村森林組合	相馬郡飯館村草野字本町83	0244-42-0055
67	16 飯館宮林(有)	相馬郡飯館村飯樋字所久保10	0244-43-2603
68	17 (有)丸信林業	いわき市川前町下桶売字荻91	0246-48-4878
69	18 國生興産(有)	いわき市小川町柴原字桐ヶ岡48	0246-83-0731
70	19 (有)中崎林業	いわき市小川町塩田字尾ノ内127	0246-83-1864
71	20 (有)松本林業	いわき市小川町関場字前田78	0246-83-0548
72	21 いわき市森林組合	いわき市平字正内町107-3	0246-23-1599
73	22 (株)長山	いわき市遠野町深山田字新田62-1	0246-89-3999
74	23 遠野興産(株)	いわき市遠野町根岸字石田44-3	0246-89-2172
75	24 (有)平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	0246-89-2066
76	25 常磐林業(株)	いわき市泉町下川字田宿187	0246-56-1222
77	26 (有)井出林業	いわき市田人町貝泊字井出102	0246-62-4590
78	27 (有)豊田林業	いわき市田人町旅人字前山1	0246-68-3021
79	28 (有)近野林業	いわき市勿来町大高広時1	0246-65-2974

注) 番号は、流域ごとに、市役所・町村役場一覧の順に表示しています。

**【認定林業事業体とは】**

林業労働者を雇用して、造林、保育、伐採その他の森林施業を行い、改善の計画を履行する意欲と能力を有する事業者が、「福島県林業事業体改善計画認定要領」に基づき「雇用管理の改善と事業の合理化についての計画(改善計画)」(5年間)を作成・申請し、県知事の認定を受けると認定事業体になります。

# 福島県認定事業体位置図(流域別)



認定事業体名一覧(色分けは管内別)

(R3.2.1現在)

阿武隈川流域		奥久慈流域		会津流域		磐城流域(相双)		磐城流域(いわき)	
No.	名称	No.	名称	No.	名称	No.	名称	No.	名称
1	福島県北森林組合	21	東白川郡森林組合	33	会津若松地方森林組合	52	松山林業(有)	68	(有)丸信林業
2	(有)吾妻造林(有)	22	(有)陣野林業	34	(有)佐藤林業	53	(有)国見グリーンパワーズ	69	國生興産(有)
3	(有)斎一林業	23	(有)スズキ木材	35	(株)山空林業	54	相馬地方森林組合	70	(有)中崎林業
4	(有)武田林産	24	(有)田部林業	36	会津北部森林組合	55	(有)鈴木林業	71	(有)松本林業
5	安田林業(株)	25	協和木材(株)	37	(有)斉藤造林	56	千葉製材所	72	いわき市森林組合
6	浜崎製材(株)	26	(有)いしぐる	38	(株)ノーリン	57	(有)中川木材	73	(株)長山
7	郡山市森林組合	27	(株)武農林商会	39	西会津町森林組合	58	(株)ガイアワーク東北支店	74	遠野興産(株)
8	(株)アメリカ屋	28	真名畑林業(有)	40	(有)六和林業	59	ウッズガーディアンズ(株)	75	(有)平子商店
9	(有)ネイチャーリバイブ	29	(有)ウッド福生	41	栗城林業(株)	60	(有)山英林業	76	常磐林業(株)
10	田村森林組合	30	(株)池田林業	42	(有)川島林業	61	双葉地方森林組合	77	(有)井出林業
11	(株)クライス	31	(有)本郷林業	43	(株)桜林業	62	(株)緑樹	78	(有)豊田林業
12	(有)大須賀林業	32	(有)諸橋林業	44	(有)共和林業	63	(有)志賀林業	79	(有)近野林業
13	アブクマエコロジー(有)			45	下郷町森林組合	64	吉田林業(株)		
14	(有)松崎産業			46	(株)ヤマシ	65	(有)ハヤマ森業		
15	(株)サンライフ			47	只見町森林組合	66	飯館村森林組合		
16	ふくしま中央森林組合			48	佐藤造林	67	飯館営林(有)		
17	(株)ミツヤマグリーンプロジェクト			49	南会津森林組合				
18	(株)出田創業			50	(株)館岩工務所				
19	西白河地方森林組合			51	山星林業(株)				
20	(株)E・ウッド								

令和3年3月発行

発行：公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 福島県林業労働力確保支援センター  
 〒960-8043  
 福島県福島市中町5番18号(林業会館内) TEL:024-521-3270 FAX:024-521-3246  
 メール:fukusien@violin.ocn.ne.jp ウェブサイト:https://www.fukurin-net.jp/?cat=3

